

京橋の印刷

10月5日1989・No.74

東京都印刷工業組合京橋支部
〒104 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館3F 電話 552-1855

発行人
大竹次郎



印刷文化発祥地

鐵砲洲稻荷神社宮司

中川正光

世界の真ん中に成りつつある日本の、その真ん中は、言わずと知れた大東京である。その大東京の真ん中が、文字通りの中央区であつて、その中央区の「まん真ん中」が、鐵砲洲であることは、地図に示されてある通りである。

此の鐵砲洲が、徳川家康入府の頃は、既に鉄砲の形をした、南北凡そ八丁の細長い、荒川口の洲であつた。寛永の頃は、此処で、井上、稻富という砲術の両家が、鉄砲大砲の射撃演習をしたので、鐵砲洲の名称が定着したと伝えられている。

間もなく陸続きになつても、地名は鐵砲洲のまま、大江戸玄關の湊となつた。故に、諸国の船々が輻輳した。幕末には、世界文化の日本入口となり、先づ洋式印刷の発祥地となつた。電信電話の発祥地でもあり、杉田玄白等の近代医学の発祥地でもあり、歌舞伎演劇の発祥地でもあり、日本海軍の発祥地、軍楽隊音楽の発祥地でもある。なお、慶應義塾大学、明治学院大学（一致神学校）、立教大学（今の聖路加病院の地）、法政大学（フランス法律学校）の発祥地でもある。

「江戸」の名称は、荒川の河口、武蔵の国の東の隅を流れるから、後に隅田川と名を変えたが、その「江の戸口」だから、「江戸」と称し

たのである。当時は世界第一の大都会であった此の大江戸の、由緒ある発祥地である鐵砲洲も今や大東京の形成で、当時はほんの片田舎であつた池袋、新宿、渋谷等の周辺部に、開発が遅れた形になつてゐる。

然し、晴海通りや、東京駅正面の八重洲通りが、近き将来のウォーター・フロントへ直通するように成れば、此の鐵砲洲一帯の地が、再び世界一の大東京のまん真ん中の、否、日本の真ん中の、世界の真ん中の、文化の大中心地と成ることは明らかである。

そして、日本の印刷文化の発祥地鐵砲洲が、再び万葉の桜か花の色の輝きを見せてくれて、かつての久米社の印刷ポスターが、ニューヨークに於いて、世界最優秀賞の栄冠を得たように、今後も各社が、見事な成績を挙げられるように、私は心から熱望してやまない。

鐵砲洲湊の、船を待つ町を「船松町」と言つた。今の湊三丁目である。そこに、当時の日本一の大学者、荷田春満先生がお住いになつて居られた。先生は、新湊町(湊一丁目)の鐵砲洲稻荷神社で、常に御講義をして居られた。その講義の根幹は、

- ① 生命はどこから来たか。
 - ② 何によつて生かされているか。
 - ③ 如何にして生きてゆくべきか。
 - ④ 死んだらどうなるか。
- ということであつた。
- ① は、親先祖を大切にせよ。
 - ② は、天地の恵み、人のお蔭様に感謝して、世

のため人のために奉仕せよ。

- ③ は、お日様を拝み、外氣、生水を誤ることなく、節酒禁煙、玄米・野菜・海草・小魚を戴いて、健康長寿の生活をせよ。
- ④ は、先祖に喜び迎えられる子孫と成り、子孫からは、拜まれる先祖に成ろうと、ひたすらに努力せよ。

というのである。願わくば、人間は誰でも、命が終れば温かく先祖の靈に迎えられ、自分の子孫からは手厚い供養を受け、万靈万魂から善根の祝福を受けて、此の世もあの世も、先祖も子孫も、人も自分も、からだも心も靈魂も、みんな救われるように成らなければならない。

天堂極楽の絵そらごとに頼ることは、全く各人の自由である。然しそこには、顯幽救済の証拠は、事実として何一つも無い。然もこれを、どこまでも絶対の真理として、強引に主張し、そうでないと信ずる者と、排他独善的に殺し合う戦争のような愚劣さをやつて来た宗教や思想には、世界を救う何の徳も力も無いと言わねばならない。

総ての人類が、例外なく、天を父とし、地を母とする、四海同胞であることを自覚する天地悠久の大道を邁進し、世界恒久平和建設の悟りを、今の鐵砲洲の湊から、全世界へ輸出するようになったら、鐵砲洲は初めて、世界文化の大中心になる。此の文化を伝播するものが、鐵砲洲の優秀なる印刷文化であるように、私は心から念願する次第である。

支部内、地区間の作業交流を促進しよう

今回の「京橋の印刷」は湊地区が担当致しました。皆様ご承知のとおり湊地区は支部内最大の地区ですが、ご他聞に洩れず、地上げの関係等で組合員も漸減傾向にあります。組合に入っているメリットが少しでもあるように作業交流を活発にさせようではありませんか、支部内、地区間で殆んどの仕事が消化できると思います。今回の紙上で湊地区組合員全員のご紹介をさせて頂きました。貴社におかれて外注の必要が生じた時にご活用下さいますようお願い申し上げます。

湊地区長 松川昭義



設備 / 文字入力用ワープロ 8台 / 入力編集システム 3ユニット / ワープロコンピュータ(自社開発) 2台 / 自動作図機 1ユニット / 製版・刷版設備一式
菊半截 4色機・菊全 2色機 CPC 付
ハイデル各 2台 / 製本・断裁・丁合・折機

(株)大成美術印刷所
代表者 新保 義人

TEL 552-3711(代)
FAX 553-9084



設備
オリバー菊半截 2色機
ハイデル菊全両面機
リスロン菊全 2色機

松川印刷(株)

代表者 松川 昭義

TEL 553-0831
FAX 555-1382

京橋支部通常総会開催

支部特別会費の拠出を承認



5月12日、午後6時から中央会館7階で、平成元年京橋支部通常総会を開催した。荒木副支部長の司会により、まず増田副支部長の開会のことばのあと、大竹支部長は、来賓や支部員へあいさつで、活発かつ慎重に審議をお願いすると述べた後、議長に、(有)斎藤正文堂、斎藤収夫氏を選出して議事に移った。第1号議案としてまず大竹支部長が昭和63年度事業報告を行った

後、第2号議案の昭和63年度収支決算報告が瀬戸副支部長により説明され、前期繰越金71万円を充当しても約38万円の赤字で、合計110万円の赤字決算となったが可決承認され、当期38万円の赤字は繰越積立金を減額して相殺、次期へは繰越しないとの提案をして承認された。
続いて、同監査報告が小林一夫(金山印刷)監査より報告がなされて承認された。

次に第3号議案として、平成元年度事業計画(案)が大竹支部長によって説明された。地域環境に関し各地区共、数年来の地価上昇が一段落したもの、印刷工場の設置に厳しいものがあり、移転、廃業等による組合員の減少は今後も続くものと思われる。組合事業に関しては本部施策の実施、研修会、各種行事の継続実施と組合員加入増強運動の継続実施に加えて、京橋支部印刷人青年会創立10周年記念事業への協力補助を重点的に打ち出した。続いて第4号議案の同年度予算が瀬戸副支部長から説明され、京青会10周年記念協賛金として250万円の支部特別会費の拠出を計上し、組合費の年間額の10%の特別徴収の説明がされて、質疑応答へと移った。まず八千代印刷(株)石曾根相談役が質問に立ち、先日の顧問・相談役・参与の会でも説明は受け



設備

- 全自動Bスリー 1台
- 手差し46~8 1台
- 手フート 1台

三進印刷(有)

代表者 池宮 義久

TEL 551-3235



(株)東京アートプリント

代表者 栗林 茂

TEL 552-1435

FAX 552-1437



日昇印刷(株)

代表者 関根 勝

TEL 553-3161

FAX 551-4898



設備

- A全機1台、B2機2台
- A全手差機1台

協和美術印刷(株)

代表者 浅野 知一

TEL 551-2724

FAX 555-2194

たが承認はしてないし、組合員への周知がなされてない、又京青会の事業の全体像が提示されてない等の理由で京青会への協賛金支出へ反対の旨を述べた。又工団連会費の減額についてこの20万円の差額をどうするのかと質問した。これに対して大竹支部長は「この総会資料は一週間前に配布済みであり、京青会事業への協力は書いてあり、又顧問・相談役・参与の会の承認は諮問して了解をお願いする手続きであり、次世代を担う青年会の10周年記念行事なので、組合員自身の特別会費で賄うのがベターで、記念行事の内容如何で協力、非協力というのは失礼で、若干の育成は全組合員の問題である。今後、部長会、地区長会を通じて特別会費拠出についてPRし、協力をお願いしたい。中央区工団連の会費については工団連に私共の意向を伝えてあるので工団連総会の席での議論となる。」と答えた。これに対して(株)小葉印刷所、小葉相談役は「工団連は印刷が中核となり育成、発展させてきた筈なのに、赤字決算だからといって30万円に減らすし、京青会へは特別会費で250万円も援助するのは納得できない。今後の地場産業を考える時、中央区の行政の指導を受けるべき時にこれでは消極的だ」と質問、これに対して大竹支部長は「工団連の創立当時はおつしやるとおりだが、現在の工団連のあり方に疑問がある、昨年の中央区工業文化典にも協賛金を出し協力してきたが決算報告の説明が不十分で工団連の会費についても上限を決めて欲しい。」と反論した。その時前支部長の高千穂印刷(株)

小山相談役が、説明に立って「工団連の会費が一社1500円から2000円に値上げされる際に、中央区側へ印刷業の工場建設等に対する助成を条件に賛成した。」と値上げの経過について補足した。続いて石曾根相談役が事業等の発表をすべきだ、僅か50名足らずの京青会に支部が協賛金を出すのはどうか。」と再度質問。続いて丸栄(株)、飯島氏は地区会で話しが上っていない。」として反対を表明した。(株)大秀社、長島常務理事が「このまま議論しても時間も限られているので、京青会協賛金については、従来の京青会の行事内容にも不満もあるが、一応承認して、京青会の行事内容を見ていこうではないか」と



設備
軽オフA3 2台/写植機 1台/ダイレクト製版機 1台/プリンター 1台

(有)ミナト印刷社
代表者 中村 英雄

TEL 551-8490
FAX 551-7866



設備
モトヤのレーザー7

(株)三和印刷社
代表者 市川 仁作

TEL 551-7371
FAX 551-7373



設備
B 2 単色 1 台

(株)協和美術社
代表者 村田 伸一

TEL 551-3623
FAX 555-2194



設備・特長
オフセット下請け
菊全単色・%半截単色

(有)真栄社印刷所

代表者 高橋 正浩
TEL 551-0993



提案した。ここで斎藤顧問から議事進行が求められて、これを契機に採決を行って挙手により過半数の賛成のもとに平成元年度事業計画並びに収支予算案は承認された。

議事を終了し、来賓の挨拶に移り、中央区長、矢田美英氏は「白熱した論議をお伺いして、印刷業活性化への熱意の表われと心強く感じました。やはり印刷は中央区の地場産業でございます。しかも厳しい状況にあり、他所から中央区へどんどん進出して来て、地価が高騰している中であって、皆様方がこの地場産業である印刷業を守る、育てる、発展させるという気概を持っているという事を今改めて聞き、心強く思

う次第です。アメリカの三代目の大統領で独立宣言の起草者でもある、トーマス・ジェファソンの言葉に「真実は自由な論議の中から生れる」という言葉があります。私はこれこそアメリカ民主主義の、又生存の自由の原点であるというふう信じている訳です。こうした空気が皆様方にあり、この印刷を発展させようという熱意があり限り、中央区から印刷は不滅であると思はる訳であります。従いまして行政側としましてこの厳しい状況を打破する積りでありますのでよろしく願います。」と英語のスピーチを混えて、力強く述べた。

続いて、東印工組、小宮山副理事長が挨拶に立って、本日は新村理事長の代理で一言お願いに参りました。印刷業は東京の地場産業であり、印刷業の今後の振興、発展への熱意が本日の総会での活発な議論となった。東印工組本部でも事業の活性化のために賦課金の値上げを今月末の総代会にかけて、第3四半期分より平均6.5%の値上げをお願いすることに理事会で承認されましたので、是非共、ご理解を賜わりたい。」と述べて、総会の時間が延びたため端折って、あいさつをして終わりました。最後に閉会の挨拶を長田副支部長が行って一時間二十分に亘る活発な議論の応酬をした総会を終了し懇親会を隣室に移して行われました。

懇親会では田島副理事長が乾杯の音頭をとって京橋支部の増々の発展を願って、一同杯を上げて乾杯をして、約1時間遅れて懇親の輪を作りそれぞれに喉を潤していました。(岩本書記)



(有)湊町大橋印刷所
代表者 大橋 繁行

TEL 551-1464
FAX 551-1435



設備・特長
出版相談、帖面含

(株)蓬萊屋印刷所
代表者 森山徹太郎

TEL 551-8732
FAX 551-4673



設備
ハイデル SORDZ A全2色機
ローランド FOB 菊半截単色機

(株)大秀社
代表者 長島 一磨

TEL 552-5641
FAX 552-3945



設備・特長：美術印刷全般/ポスター、カタログ、パンフ等の企画・制作・印刷(企画・制作、写植・版下、刷版・製版、モノクロ印刷から製本までの部門を社内に有し、受注から納品までを一貫して担っている)

東京真宏印刷(株)
代表者 久保田幸一郎

TEL 551-1131(代)
FAX 551-1199

中央区


工団連一泊研修旅行記

毎年恒例になっている、中央区工業事業主・工業優良従業員宿泊研修会が、今年は六月十八日・十九日の二日間に亘って実施されました。梅雨の季節のため、晴天には恵まれませんでしたが、静岡県浜名湖館山寺温泉に一泊、河合楽器舞阪工場の見学の旅でした。六月十八日(日)午前八時三十分、総勢一三六名(申込一四六名)が三台のバスに分乗して中央区役所前を出発した。




京橋の印刷は総員三十五名が三号車に乗ることになった。車が走り出して石曽根副会長の挨拶があり一路目的地に向かう。首都高速から東名自動車道路と進み、途中港北SA、富士川SAと少憩をし渋滞もなく順調に走行出来たことから、予定より時間の余裕が出来たので静岡茶工場の見学後袋井インター・袋井観光センターで昼食をとり午後二時三十分宿泊場所の浜名湖館山寺温泉「遠鉄ホテルエンバイヤ」に到着。

ホテル到着直後、旅装のまま会議室において(財)静岡経済研究所西部支所所長の佐藤克昭氏より「浜松市の地場産業について」の演題で研修を受けた。講演の要旨は、(一)浜松市の工業の発



設備/スプリント・25菊半載2色オフセット印刷機・アポロB半載単色オフセット印刷機
宣伝印刷物/ポスター、チラシ、リーフレット、カタログ、ダイレクトメール


正和印刷(株)
代表者 西田 正
TEL 553-2776~8
FAX 553-3917



酒井印刷所
代表者 酒井 豊吉
TEL 551-3897



湊印刷所
代表者 山本 庄一
TEL 551-2328
FAX 553-4639



設備
活版

文行堂印刷(株)
代表者 斎藤泰次郎
TEL 551-5948
FAX 551-7630

展過程の現況、(二)浜松市の工業構造の変化と中小企業の課題、(三)地域開発と中小企業というところで約一時間に亘り、静岡県全体の地域性や浜松市の工業の歴史等多岐に亘り非常に参考にあった。特に地価高騰の波が此の地にまで及んでいることを聞き、何処も厳しい状況下にあることを知ることが出来た。

研修後割当てられた、それぞれの部屋に入り旅装を解き、十三階にある展望大浴場で旅塵を落す。午後六時から大広間で懇親会の宴会が始まり、参加者のカラオケのど自慢や舞踊を見聞きながら賑やかに歓談することが出来た。

翌十九日(月)は朝から生憎の雨模様である。午

協同組合プリントパール見学記

これからの印刷業界がどのようにあるべきか誰でもが危惧しながら、営業を続けている中で協同組合プリントパールの誕生は、私たちに一つの指針を示してくれるかも知れない。

湊地区では、5月13日(土)に江東区潮見に3月に誕生した協同組合プリントパールの見学に行きました。

何故プリントパールの見学を企画したかと言いますと、湊地区の中から、(株)三豊社印刷所さんと(株)大友商会さんが組合員となられ移転したことから、少し落着いたらお話を伺いたいと三豊社印刷の木藤社長にお願いしておいたところ、

前八時三十分ホテルの従業員の見送りを後に帰路につく。帰路、浜名湖畔にある(株)河合楽器製作所舞阪工場の見学をする。この工場は敷地面積約三万坪、建築面積約一万坪の広さがあり、五六〇名の従業員が完全週休二日制、残業皆無で日産二八〇台のアップライトピアノを生産している。手作業もあるが、ロボットによる加工、ベルトコンベアーによる流れ作業でスムーズに作業が進められていた。

工場見学後、焼津・石原水産マリンスターションで昼食、東名高速を経由して午後四時三十五分中央区役所前に到着解散した。(中山記)

ご都合がよい5月13日に9名の組合員で訪問しました。

当日は生憎、組合長の(株)久保田の久保田社長は所用のためお留守でしたが、(株)博伸社の牧野さん、シグマ印刷工業(株)の島村さん、三豊社印刷の木藤さん、大友商会の大友さんが出迎えて下され、明るい組合事務所でいろいろと苦労話なども混えてお話を伺いました。

そもそも、この協同組合プリントパールを設立すると云う考えは、今から4年前の昭和60年春に、現在隣接するプリンティングシティの第2次募集に間に合うことが出来るかどうかと云うことから準備を進め活動したのがきっかけだぞ



特長
設備：1/2半截活版機、B3オート活版機、オフSA551、2連式ドリル、綴じ機械

(有)青柳印刷所
代表者 青柳 晴男
TEL 551-3500(代)
FAX 297-1960



特長
カレンダーの総合メーカー
イツセイカン
(株)一世館
代表者 金子 隆吉
TEL 551-8101
FAX 551-6548



特長
印刷一般
島田アサヒ印刷(株)
代表者 嶋田 忠次
TEL 552-8686
FAX 555-9433



特長
諸印刷一式
(株)進和堂印刷所
代表者 鈴木 和雄
TEL 551-2489
FAX 551-7804




うです。この計画はいろいろの障害のために実現しませんでした。

そこで、昭和61年になってから設立発起人11名をもって、東京都公害防止事業団が管理する、東京都港湾局の所有する現在地の払下げ運動に着手し、昭和62年8月に正式に組合設立の運びとなり昭和64年3月から稼動するようになりました。

この間には、役所の許可を得るための筆舌に尽せぬ苦勞があつたようですが、当初参画した11社が一人も落伍することなく強い結束があつたこと、理事長の統卒力、指導力が全員の理解と信頼を得たからこそ実現したのであります。

別掲の組合概要をご覧になって頂ければおわかりになりますが、投資総額42億円と云いますから、利用面積で差がありますが1社平均約4億円を20年で償還と云うことです。当初の目論見では、土地価格がもっと安いと思つていたところ近年の地下高騰の影響で大巾にアップしたそうです。又、当初の頭金は5%だそうですから単純計算で1社約2千万と云うことです。

現在、組合従業員数は約160名で出、退勤の時間に合わせ、地下鉄東西線木場駅からマイクロバスを運行しています。


設備・特長
多色輪転機5台(含オフ)、特種追い
刷り機1台、万能機3台、糊付け機2
台(含封筒加工)。印刷・製本から納入
まで、コンピュータ用帳票主体

グリーン・フォーム(株)
代表者 金子 春雄
TEL 551-3052
FAX 551-3187



特長
カタログ・パンフレット

聖文社印刷(株)
代表者 田島 弘
TEL 553-2665(代)
FAX 553-8618



設備・特長
凸版機(A2、B3)
帳票印刷全般

(有)松本印刷所
代表者 松本 尚武
TEL 551-0982



特長
印刷一般

(株)越州社
代表者 加藤 英夫
TEL 552-1821(代)
FAX 551-1750

プリントパル・組合概要

| | | | |
|----|----|--------|--------------|
| 名所 | 称地 | 協同組合 | プリントパル |
| 理在 | 長日 | 東京都江東区 | 潮見2-3 |
| 設年 | 月積 | 久保田実 | 昭和62年8月7日 |
| 敷立 | 地面 | | 5,400㎡ |
| 組員 | 用地 | | 4,908㎡ |
| 協組 | 合用 | | 492㎡ |
| 建築 | 面積 | | 2,291.25㎡ |
| 延床 | 積数 | | 6,332.66㎡ |
| 投物 | 棟数 | | 5棟 |
| 取資 | 融機 | | 約42億 |
| 引金 | 融機 | | 太陽神戸銀行深川支店 |
| 加主 | 入事 | | 東京都中小企業団体中央会 |
| | | | 施設の管理運営 |
| | | | 金融事業・購売事業 |
| | | | 教育及び情報の提供 |
| | | | 福利厚生 |
| 組員 | 数 | | 11社 |
| 組員 | 数 | | 162名 |

組合としての事業も将来は多岐に亘って行なう予定だが、まだ発足したばかりなのでガソリンの共同購入を行っているに留まるが、業者の売渡し価格は1ℓ115円、その中から2円が組合にバックされるそうです。

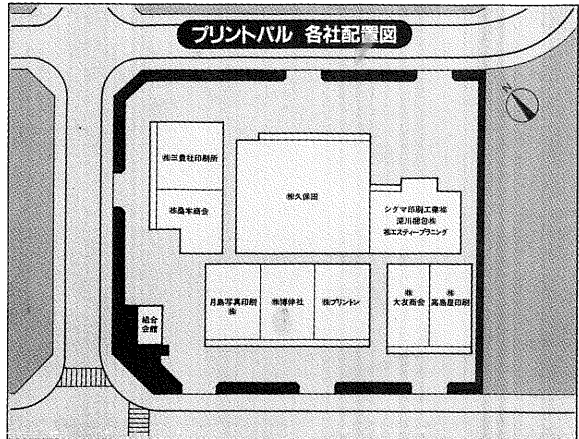
一つの組織をつくることは大変なことだと思いますが、私たちが営業をしている湊、入船、新富は特に将来を展望して、同業者が結束し方向を見いだす必要があると痛感します。

後継者の問題、雇用の問題、福利厚生の問題どれ一つをとってみても、一事業所では解決できないことが多くあります。中央区でも区民が8万人とか、何とか10万の線まで回復させるべく思考されてるようですが、それには先ず地場産業の印刷、製本のあり方を根本的に見直して行く必要があると思います。一案として、実現可能、不可能は別として、現在廃校になっ

る校舎の跡地にプリントパルの要素の工場ビルを建設して、機能的な作業場にすると共に、職住近接を図り、新しい形の協業化を実施して行けば、区民の増加、地場産業の発展も夢ではないと思います。

組合事務所懇談会、大友さん、博仲さん三豊社さんの工場を見学させて頂いたが、設計の段階から工場としての必要条件を満たした建築をしてあることから機械の騒音は、外部には勿論のこと、2階で作業している印刷機や製本機械の振動や騒音が1階にいて全然わからない素晴らしいものでした。

工場見学後、事務所に戻り、感想などお話しして3時30分に辞去致しました。(中山記)



三荒印刷興業(株)
代表者 荒川 隆司

TEL 553-1801(代)
FAX 553-1913



双美印刷(株)
代表者 杉山 吉男

TEL 551-6491(代)
FAX 551-6494



設備・特長
企画デザイン、電植
コンバート、情報処理

(株)ディグ
代表者 篠倉 正信

TEL 551-3060
FAX 555-8684



設備・特長
A 3、B 4 印刷機
シルバーマスターによるダ
イレクト製版印刷

(有)中山印刷所
代表者 中山 英男

TEL 551-2937
FAX 553-6796

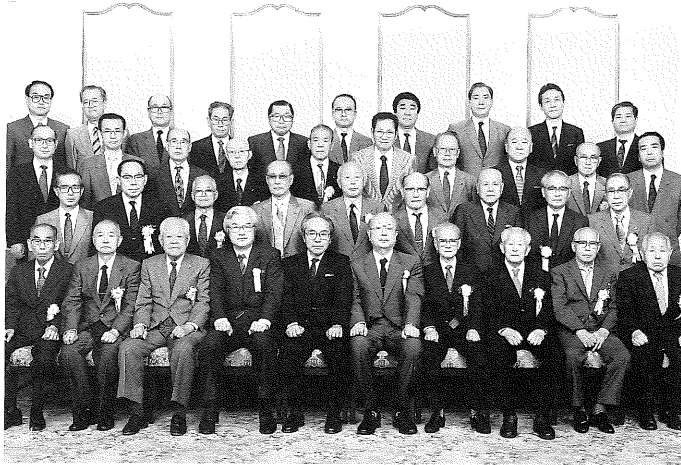
「長寿者の集い」

於・京橋会館7月5日(水)

平成元年7月5日(水)、京橋支部長寿者の集いが京橋会館の7階で12時から開催されました。まず荒木副支部長の司会で、大竹支部長が、あいさつとして、ささやかながら長寿者の皆様の懇談の場として下さいと述べた後、記念撮影を6階で行った後、再び会場に戻って、来賓の中央区の矢田区長が祝辞を次のように述べた。

「本日は長寿者の集いで誠に御出度うございます。日頃、お世話になっております中央区の矢田です。本日はお招きに預りまして有難うございます。この中央区も一日にして変わったではありません。先輩、先人の努力の結果、今日があるわけで、この意味で地場産業の印刷も同様でありまして、こうした点で先輩を敬うという事で、このような集いが行われるという事は非常に貴い事であるわけです。今中央区の産業である印刷は残念乍ら非常に厳しい環境にあるわけですので、先般、区の方でもアンケート調査をしました所、地価の高騰や或は後継者不在といった事の比率が高くなっており、こうした事を踏えまして、中央区の振興について策定に取り組んでいる所でございます。地場産業である印刷業へ一層力を入れてゆきたいと思っておりますので、どうか宜しくお願いします。本日は誠に御出度うございました。」とお祝いの言葉を述べた。次に東印工組小宮山副理事長は、

「本来ならば新村理事長が参りまして親しく、ご挨拶申し上げる所ですが、よんどころない用事が出来ましたので、代りに私が祝辞を述べる事をお許し下さいと断った上で、只今、矢田中央区長より、御祝辞がありました。地場産業である印刷業への励まし、地価の上昇等環境の変化に対して、行政の立場でしか出来ないよ



東京都印刷工業組合京橋支部長寿者の集い 平成元年7月5日 於 京橋会館



設備
A半載オフ、 $\frac{1}{8}$ 8載オフ機
八代印刷工業(株)
代表者 八代とく子
TEL 551-2454
FAX 555-9583



設備
菊全2色オフセット機 1台
菊全1色オフセット機 1台
菊全焼枠機 1台
(有)宏洋社
代表者 湯浅 寛庸
TEL 551-9992



設備
菊半載単色機 2台
(有)光成社
代表者 飯塚 久男
TEL 551-1839



設備・特長
オフセットA全、A半機
商業印刷主体
(有)大和総合印刷
代表者 鷹島 義司
TEL 551-8556
FAX 551-8522

うなお手伝いして下さるとの心くばりの言葉を頂き感謝申し上げる次第ですが、ただ私共はそれを待つだけでなく、京橋支部はいろんな面で環境の変化に曝らされていますけれども、我々は自助努力でもって出来る事をやっていこうという事です。先般も東印工組でもって、ファクシミリマークの制定、発表や、平成元年印刷人の集い等を東青協の若い人の企画で開催し、印刷業の未来展望を行いました。又京橋支部でも、この秋には京橋支部印刷人青年会（京青会）10周年の記念行事が行われる予定です。通常総会等を通じまして、支部長からお話がありましたが、やはり、業界としては後継者の育成問題という環境を踏みこえて、これからも、継続して発展してゆくのだと、こういうような事の

今、構造的視野をもとう。

Ⅱ 構造改善計画への一考察Ⅱ

ファッショナブルな「構造」

私も印刷業界において、現在第3次構造改善計画事業が進展中であり、たまたまそこに使われている構造改善という言葉が、どの程度まで私どもの立場から「構造」の本質まで掘り下げて理解していたか気になっていた。ところが、最近の新聞や雑誌を注意して読むと、「構造」という言葉がよく使われていることに気がつく。先日、参議院選挙で大惨敗を喫した自民党のある派閥の領袖が、この厳然たる国民の審判を直視して、政治における構造的改革が必至になっ

努力ではないかと思えます。京青会も発足してからもう10年も経っているのかなあと、思う次第ですが、こういう若い方を私共は育て、京橋支部の事業を通じて、東京全体、ひいては日本の印刷産業というものを、21世紀に向けて、増々発展の核になるよう、努力をしていく事が必要かと思えます。このような事を先輩の皆様方に前に話す事は私の本意ではございませんけれども、お役目でございますのでお話しを願ひまして、お祝辞にかえてご挨拶を申し上げます。本日はお目出度うございました。これからも一つ、私共、役員及執行部に対しまして、暖かいご指導を伏してお願ひ申しまして祝辞の言葉とさせていただきます。どうも有難うございました。」と述べた。

(岩本書記)

たと話している、ここで、単に政治改革といわず構造的といったことは、何を意味しているであろうか。あるいは、依然として解消されない日米貿易摩擦について、両国次官級による実務レベルの日米構造問題協議が本格的に動き出し、両国における経済構造の調整が検討されはじめているが、ここで経済問題が構造問題として考えられなければならないとき、問題の根深さ、深刻さをよみとることができる。8月8日に発表された'89年版経済白書では、現在の日本経済の好調さを分析して、産業の高度化、グ



設備・特長

- コンピュータと直接対話する印刷物、カラコードの開発
- 小ロット多品種受注に対応するJ・T・Oシステムによる印刷物生産

(株)ジャテック

代表者 富岡 信

TEL 551-2483

FAX 553-4020



設備

%半截2色刷機

%半截1色刷機

(有)宮川印刷

代表者 宮川 良一

TEL 551-8602

ニード印刷(有)

代表者 田村平太郎

TEL 551-8448

金木印刷工業(株)

代表者 金木 武一

TEL 552-4686

FAX 552-4688

ローバル化、ストック化の3つの側面における構造変化が景気の持続を可能にさせていると述べている。日本は新しい成長段階に入り、どんなに円高になっても日本の貿易黒字が減らない構造、即ち日本型の高度化が達成された実証であるともみている。ひととき心配された産業の空洞化もこの新しい成長段階を支える構造の中では、顕在化しなかったわけである。

このように構造という言葉が政治的にも経済的にも、さらには社会のいたるところで使われ出した現象を考えると、改めてこの言葉の持つ意味を考え、変化しつつある現代を把握する一つの切り口としてとりあげるのも、あながち無意味ではないと思われる。

かつて出版界のベストセラーの中に浅田彰の「構造力」という大変難解な構造主義の解説書が登場したことをご記憶の方もおられると思う。若い男女が、キャンパスでブックバンドの束にこの本の表紙を見えるように入れて歩くのが、当時のファッションであった。勿論、ポスト構造主義を含めた現代の思想の最前線を、この本を読んで簡単には理解し得ないことは当り前であるが、構造主義が社会現象として流行の前面にでたという事実には注目してもよい。

「構造の意味」

そこでまず「構造」の社会的意味を社会学辞典に調べると、構造とは、英語で Structure であり理論社会学における一つの概念である。そこには中心的な三つの問題が考えられる。一つ

は構造が構成される「要素」であり、二つは構造が指向している「目的」であり、三つは要素の積算を超える構造の「全体性」である。さらに構造を構造主義的視野から考えるとき、この「全体性」という基本的性格に変換のシステムと自動調整機構という二つの性格を加えることとなる。そして全体性の要件を満たすためには、構造を構成する諸要素は単なる孤立した集合状態ではなく、それぞれが不可分の絆によって結ばれている。つぎの変換のシステムとは構造を構成する諸要素を交換しても、その結合関係の本質はそのまま残るような構造化そのものの生きた働きを指す。最後の自動調整機構は変換のシステムが成り立つためには当然要求される性格として考えられる。全体性の継続をはかるには、その不変性をおびやかす諸要素の代入や誤った結合を常にチェックし、未知の無数の諸要素から、適合するものだけを選択し、結合する機能が要求され、この性格があつて構造化作用は成立するわけである。これまで構造についての説明がわかり難いため少し長くなつてしまつたが、むしろ判り難くなつている現代社会を理解するための、現代思想の大きな潮流のなかでさけて通れないキーワードとなつていることをご理解いただき、お許し願ひ度い。

近代化促進法と構造改善計画

戦後、零からの出発を余儀なくされた日本が今日のような経済大国にまでなつた原因はいろいろとあるが、そこには日本独特の経済構造として、大企業と中小企業との二重構造がその矛



設備・特長
一般端物印刷

木俣印刷(株)

代表者 木俣 康平

TEL 552-8781

FAX 552-8783



設備・特長
平版印刷

興文堂印刷(株)

代表者 寺町 利郎

TEL 553-0451

FAX 553-5653



設備・特長
フォーム印刷専門

上二ビジネスフォーム(株)

代表者 北原 敏郎

TEL 297-4821

FAX 297-4820



設備・特長
平版印刷

加賀美印刷(株)

代表者 加賀美 博

TEL 551-3664(代)

FAX 551-3288

盾を露呈することなく、むしろ巧みな協力関係を通産省が主導しながら意図的に維持されてきたという経緯がみられる。中小企業は大企業に比べ、活発な開発業や規模の移動を繰り返してつづけてきた。それが日本の産業構造に流動性を齎らし、幾度かの構造転換に大きな貢献をしてきた。そこでは元請け下請け、孫請けという独自のタテ型分業システムが存在し、中小企業の積極的な役割として評価もされた。従って中小企業が負っている経済的基盤の弱さは、ある程度構造的に容認され、組み込まれていたといえる。しかし、経済全体の規模の拡大とともに中小企業もまた急速な近代化が要請されるようになった。そこで中小企業近代化促進法が昭和38年に制定され、業種別の近代化と構造改善が推進されることとなった。近代化促進法に基づく近代化計画は、国が指定業種に属する中小企業企業者に対して示すビジョンであり、計画期間は5年。プラスチックを超えないこととなっている。そしてこのビジョン達成のための具体的な構造改善計画は、その業界団体が作成することとなっている。ここで構造改善の概念を確認するため、手引きの一節を以下に引用してみる。

「中小企業の構造的改善とは……厳しい経済環境に対処して、中小企業の競争力を緊急に強化しようとする場合に、個別企業の近代化のみではなく、共通の問題をもった企業集団に属する企業が、合併、企業活動の共同化、生産品種の交換、企業の転廃業など、生産または販売の両面で、企業と企業が協力したり、活動を調整し

ながら、企業集団の構造を変化させることにより、企業集団全体として近代化を画り、将来にわたって自立していける、効率的な業界の構造を確立することである」となっている。

印刷業界の構造改善

さて、印刷業界でも、第一次、第二次構造を経て、現在第三次構造の3年目を迎えているが、この構造改善の意図が、大枠では結果として達成されたといってもよいと思う。しかし、その成果を考えると計画の意図と効果とが必ずしも充分な因果関係によつていたとは思えないし、なお、多くの問題を現在でも残している。特に最近になると、印刷業を一つのまとまった業種として包括し、構造改善すべき全体性の対象化が難しくなってきた。従来は、比較的、他業種との境界も引きやすい、閉鎖的な業界として（勿論そのためにかえって業界内では万年供給過剰という構造的特質から厳しい生存競争を余儀なくされたが）、歩んでくることが出来た。そのため構造改善計画というインパクトがなくても、ある程度は変換のシステムと自動調整機構が機能したであろうと思われる。しかし、印刷業が情報産業の一分型として、発展しようとするのであれば、急激な技術革新とネットワーク化という状況のもとに、印刷という特殊性を主張し、その存在を明確に示すことがどこまでできるであろうか。今後は改革の対象たる全体性が示しくなくなつてきており特定業種としての構造問題として提示することが益々困難になってくると思われる。しかも現代において



設備・特長
A半截2台、B4 2台
チェス方式によるナンバー
専門印刷、特種ナンバー可
能

(株)ツカダノンブル

代表者 塚田 守

TEL 551-2016(代)

FAX 555-2236



(株)あーと・そうご

代表者 石塚 英気

TEL 553-1301

FAX 553-3787



西和印刷(株)

代表者 西山 昇

TEL 551-3849

FAX 551-3714

(有)東栄印刷

代表者 大久保 栄

TEL 553-8388~9

FAX 553-7754

構造を問題とする場合に、経済という限定された領域のみでは考えられない時代となっている。

「構造」と現代思想

構造という言葉が社会的あるいは思想的な観点からサルトルの主宰する「現代」誌に特集されて以来すでに30年近くを経過している。構造主義を一つの思想として定義するのは極めて難しい。あえていえば、言語学、文化人類学、数学、哲学、精神分析学などの各分野で、それぞれ独立して、また時には相互に影響を与え合いながら形成されてきた成果をとり入れた上で、文化を構造として追求する思想であるといえよう。思想や芸術が、少くともその時代の底に流れている現実を反映し、未来の一部を先取りしているとするならば、私たちは、構造主義、ポスト構造主義という近代知の主流が如何に難解な対象であろうと、全くかわり合いをもたないわけにはいかないであろう。誤解や誤謬をおそれず「構造」という言葉の中に、僅かでも共通性を求めながら、構造改善への一考察を試みてみたいと思っただけである。

新しい構造に向って

最近まで続いていた日本経済の二重構造も解体しつつあり、中小企業の役割も新たな構造の中に求められてきている。コンピュータをはじめ新素材やバイオテクノロジーなどの技術革新の齊らすインパクトは今後さらに大きくなるであろう。しかし、技術が技術だけで、経営が経営だけで論じられている時代は終りに近づいている。消費と産業の多様化と高度化は社会の

構造の中に定着したが、経済白書でも論点がボケていたグローバル化とストックの問題は日本の未来にとって構造的課題となってくると思われる。組織や制度は行改や経営の範囲で意図的に変えられるが、構造の変化は簡単に変えることはできない。人々の価値観やそれを形成している意識さらには本人の自覚していない無意識の領域が変化して、それが社会の構造の中に組み込まれたとき、時代は大きく転換する。経営が経済的要因だけでなく、その社会を形成している文化の問題まで包括して考えていく事になろうし、効率や付加価値だけを指標としていては存在基盤が危うくなる。私たち京橋支部の組合員も中央区の、東京の、日本の、そして地球社会というグローバルな構造の中に組み込まれているのであり、地域的に最も激しい変化の渦の只中に位置づけられている。さらに、印刷という業種が、エレクトロニクスの革新の荒波を最もまともにうける位置にある。

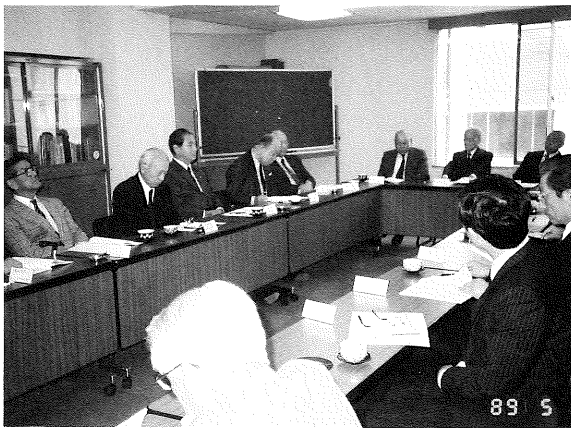
経営には常にリスクとチャンスがつきものだが、私たちにとつてそれが最もドラスティックな状況にあることは間違いない。しかし、ネットワーク社会というインフラストラクチャーが整ってきたとき、新たな構造の変化が予見される。今は軽薄短小の時代ではあるが、重厚長大とのバランスが求められるときもくるであろう。短絡的思考におち入ることなく、広く、深く構造的視野をもって、自らの足許を照らし、確実な未来の構造を構築していきたいものである。

(長島一磨)

| | | |
|---|--|--|
| <p>設備・特長 カラー印刷企画制作</p> <p>(株)ミズタニ</p> <p>代表者 熊田 泰子</p> <p>TEL 643-6910 FAX 643-6940</p> | <p>設備・特長 活版印刷</p> <p>(有)日立印刷</p> <p>代表者 佐々木 亨</p> <p>TEL 600-4190 FAX 600-7705</p> | <p>設備・特長 菊半截2色機 1台 菊半截単色機 1台 設計用図紙</p> <p>(有)和幸印刷</p> <p>代表者 小西 正夫</p> <p>TEL 635-7853</p> |
|---|--|--|

顧問・相談役・参与の会開催

平成元年5月8日、日本印刷会館2階会議室にて、京橋支部顧問・相談役・参与の会が開かれました。当日は大竹支部長からまず通常総会開催に当り、皆様に諒解を得て協力をお願いします、と総会資料を見ながら、支部予算案や、京青会10周年記念行事開催のために支部としても援助をすべきであるが、支部財政窮乏のため特別支部会費として、支部員全員から、第2四半期組合費徴収の際、合せて集金させて戴きたい。その額は支部員の年間組合費の10%の額をお願いしたい、と説明がありました。



89 5

これに出席者の意見が述べられました。主な問題点としては、まず京青会は支部の管轄する組織ではないのに、支部が全面的に資金を出すのはどうか、京青会に入っている企業が少い、記念事業の内容も決っていない等の反対意見が出ましたが、京橋支部の若手経営者を育てる、本支部でも東青協が組合事業に参画し活躍している事等を考慮して今後支部と京青会との共同事業を進めたいと大竹支部長から説明がされた。

又、予算案の中央区工団連会費の減額計上に

平成元年京青会定時総会開催

於・築地スエヒロ

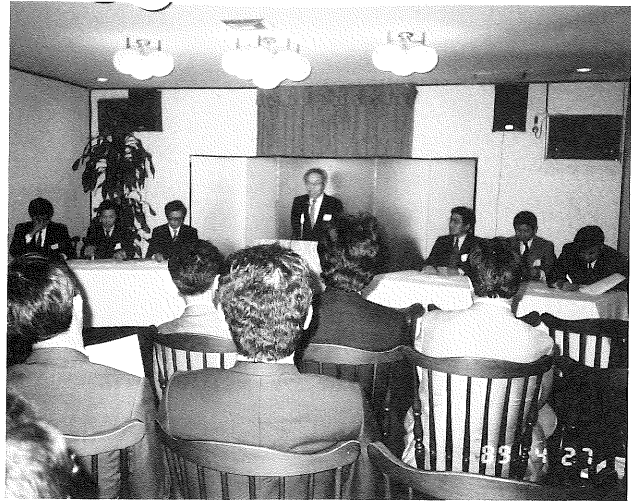
についても、京青会に出すのなら、中央区工団連会費の減額はおかしいとして、反対意見も出されました。これについて大竹支部長は、工団連の会費については、工団連の常任理事会、総会で討論することにしたと中央区の行政に対する要望をからめて解決したいという考えを明らかにした。これらの問題点を通常総会に計る予定なので皆様の御理解をお願いしますとして、会議を終了した。

平成元年4月27日、京青会臨時総会が築地スエヒロにて行われました。6時半から開かれて、まず松岡会長の開会の挨拶に続いて、63年度事業報告、会計報告が行われて、拍手により承認されて、平成元年の事業計画案、予算案が説明され承認されました。今年度は京青会発足10周年を迎えて、11月11日に記念式典や行事が行われることになりました。大竹支部長の挨拶では、この10周年事業に関して、将来の支部を背負っていくためにも、京青会に対する期待が大きい、京青会と支部事業を協力してやってゆきたいと10周年事業への支部のバックアップを約束して励ました。このあと別室で開かれた懇親会では、まず松岡会長の挨拶のあと、荒木副支部長が乾杯の音頭をとって乾杯、続いて、京青会の会費

等を集金してくれている文化産業信用組合京橋支店の藤木支店長が挨拶をして、日頃の協力を感謝しました。続いて45才となり、卒業してOB会員となる(株)毎原印刷所・毎原喜代志氏、大沢印刷(株)・大沢将宏氏の二人に記念品が贈呈され、毎原氏が代表して謝意を述べました。そして新入会員の紹介が行われ、(有)広栄社印刷所・本間浩一氏、高千穂印刷(株)の小山俊樹氏・上原寿行氏の3名が紹介され、新入会員恒例のかくし芸の披露をせがまれましたが、三人共ビールの一気飲みで、さすが、印刷業の営業に携わるだけに、大変な酒豪揃いでした。

そして皆、久しぶりの歓談に花を咲かせていました。

京青会臨時総会開催



京青会では7月21日(金)、午後6時半より、築地スエヒロにて、臨時総会を開いて京青会10周年記念行事の事業計画及び予算案を説明して、承認されました。又10周年記念事業実行委員会委員の選任も行われ、実行委員長に宇野一男氏、以下、松岡会長以下6名の選任が決まりました。当日は大竹支部長も出席して、10周年事業へ向けて支部も委員を委嘱して事業遂行に協力する旨の挨拶を行い、終了後は小宴を設けて懇親の一時を過ごしました。

中央区商工業団体

ソフトボール大会

七月三十日(日)、月島グラウンドにて、今年も商工業団体対抗のソフトボール大会が開催されました。朝八時からの開会式では茂木木工課長が挨拶のあと16チームが4面にわかれて対戦しました。当日は曇りがちの天気だったので絶好の日和となり、京青会チームは第一試合は八丁堀鈴蘭会Aチームと対戦しましたが、メンバーが8人しか揃わずに、よその人で間に合わせたせいか、7対0で完敗、敗者復活戦の対丸機械も9対7で惜敗し、昨年が続いて勝てませんでした。尚、昨年準優勝の(株)白橋印刷所チームは、第一試合は敗れましたが、敗者復活戦で勝ち進み、今年も3位に入賞して健闘しました。尚、優勝は昨年引き続き銀座シルバーズでした。

第百五十回京友会に参加して

石 沢 幸

京友会も昭和三十九年より、その回を重ねること実に百五十回「満二十五歳」を迎えました。この記念大会には会員の方々多数が参加し、六月十六日に大箱根カントリーにて盛大に開催されました。当日は小雨模様ではありませんが、参加者皆さん元気に、好プレーを続出し、互いに技、スコアを競った結果、(株)相互美術印刷



本社の小倉昭夫さん(ハンデ十二)がネット七十七の好スコアで見事優勝しました。この第百五十回記念パーティーは「塔の沢温泉一の湯」で開かれ、お互いの健康と京友会の発展を祝い乾杯しました。このパーティー席上或るコピーを配布しました。それは第一回京友会の案内状や当時の会員名簿、スコア成績表

が私の保管書類より偶然に発見され、これをコピーしたものでした。これを見て、当時の会員の顔々を思い出し、昔と今の個人スコアーの比較、各エピソードや、第一回会費が二〇〇〇円であったが、当時の物価から考えると高いのか安いのかと話題に花が咲きました。



第 回 京 友 会

京友会は東印工組京橋支部組合員がゴルフを通じて会員相互の親睦をはかり、健康で明朗な交友を深めましようとする発足したものです。第一回京友会は昭和三十九年一月二十七日東雲ゴルフ場で開催され、三十一名の会員の方々が参加しました。会長は印刷業界の発展に多大の貢献をされました今は亡き(株)久栄社印刷所の先代社長田島久男氏でした。田島さんのゴルフは印刷業界では抜群の腕前であり、当時ゴルフを始めた我々には「ゴルフの先生」でした。ニコニコ顔で「ゴルフはグリップとスタンスが基本ですよ……」と親切に教えてくれたことが走馬燈の如く次々とその場面がなつかしく思い出され、感慨無量のものがあります。又、京友会の例会に合せて京橋支部と千代田支部との親善ゴルフ対抗試合を行い、腕を競いあったことは忘れられません。

第一回親善ゴルフ対抗試合は三十九年八月箱根カントリークラブで、第二回は四十年十月武蔵カントリークラブで開催されました。その時は千代田支部の伊藤哲治氏(現・厚生年金基金理事)と同じ組でプレーし、今だに忘れられないのは或るミドルホールのことです。「バンカーからピンそばに寄せての軽い気持でのパー」誠にお上手でスコアード通りのプレイぶりでありました。伊藤さんの本業は「ゴルフ?印刷業?どちらか……」と思つた程でした。これも当時の印刷業界が隆盛で活況を呈しておつた証拠でしょう。第三回は四十一年十二月相模原カントリークラブで開催されました。当

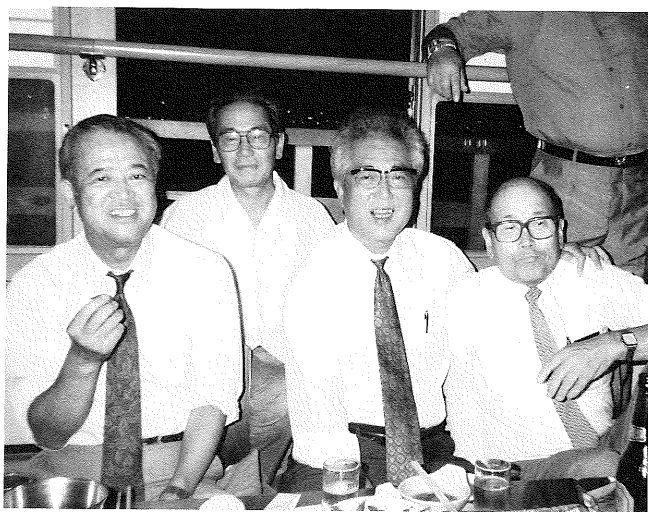
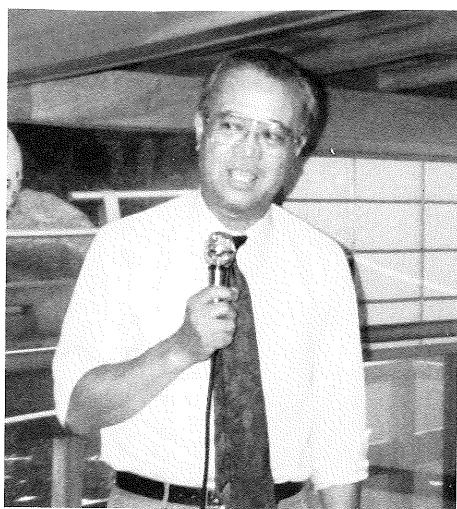
時を思いうかべ親善試合がなつかしく機会があるならば千代田支部とお手合せしたいものだと思つております。四十年には中央区の関連業界の方々から京友会への参加申出があり会則を改定し、印刷組合京橋支部員と関連業者とのゴルフを通しての新しい親睦会「京友会」へと発展しました。五十九年四月第百二十回京友会記念大会が棚倉田舎倶楽部で開催されました。しかし当時私は体調を崩し残念ながら参加出来ませんでしたので、今回の第百五十回記念大会に参加出来たことそのものが私にとりましては、この上もない喜びでした。京友会の歩みは京橋の印刷業界の歴史を見る様な気持が致します。京友会は印刷業界では最も古い歴史をもつゴルフ会であり、ルールとエチケットを大切にしてお互いがゴルフを愛し、ゴルフを楽しんでおる会でもあります。ゴルフは私共にとつては最も適したスポーツではないでしょうか!! 青空のもと緑のフェアウェイに白球をとばし、白球が緑の芝生を転がり、最後になかなるカップインの音「コーン」。こそがゴルフの醍醐味であり、日頃のストレスも、この「コーン」と共に吹きとぶものと思ひます。ゴルフは「自然と自己」との闘いでありロマンがあります。これからも京友会の皆様とゴルフを楽しみ、健康増進、充実した人生を「コーン、コーン」と過す「バードイー人生」。こそが私の夢また夢であります。

地区だより

湊地区

湊地区納涼研修会報告

湊地区では毎年の恒例行事として、納涼懇親会を催していますが、今年は特に最近著しい変化を見せているウォーターフロントの現状並びに今後の展望、地場産業である印刷業のあり方等について特別講師として東印工組常務理事、長島一磨氏を招き研修会を兼ねて隅田川に舟を浮かべ川面から実状を見る懇親会を7月28日(金)に開催しました。



定刻6時までに船着場である月島の相生橋際に参加者29名が集合、エンジンの音も軽やかに川面に吹く涼風を受けながら出船しました。松川地区長の挨拶に続き中山副支部長の支部行事の予定等報告があり、講師による湊地区周辺の環境の変化、今後の動向並びに印刷業の構造改善の対応等多岐に亘り研修を行いました。船が河口に進む両岸には陸地では見ることの出来ないビル群の林立等がつぶさに観察することが出来ました。又、海上保安庁の巡視艇、海上自衛隊の自衛艦が停泊しており、何か往時の帝国海軍を髣髴とさせました。

船は30分程下り東京港内の投錨場所に着いた頃は、周囲もようやく闇に閉ざされ、舷を打つ波の音と揺れが心地よく響きます。

研修も終り乾杯のあと懇親会にうつり賑かな歓談です。船頭さんが作った手料理は粗野ではあるが体裁ぶらずおまかなところが料理屋では味わうことの出来ない美味しさです。興にのりカラオケで楽しみながらの一杯が二杯、三杯と酒量も自然に上ります。楽しい時間は短かく感じるもので、あつという間に8時半を回り船は再びエンジンの音を響かせて出船場所目指して川をのぼり船着場に無事到着9時過ぎに散会有意義な納涼研修会を終わりました。(中山記)

湊地区懇親会旅行の足どり

| | | | | |
|----|----|----|-------|--------|
| 44 | 4 | 26 | 猿ヶ京 | 見晴館 |
| 44 | 10 | 10 | 上高地 | 白骨温泉 |
| 45 | 4 | 11 | 伊豆長岡 | 小川屋 |
| 45 | 10 | 25 | 水 上 | 蒼海ホテル |
| 46 | 4 | 26 | 西 浦 | 銀波荘 |
| 46 | 9 | 4 | 甲府湯村 | 常盤ホテル |
| 47 | 5 | 6 | 銚子温泉 | 京成ホテル |
| 47 | 11 | 4 | 鳴子温泉 | |
| 48 | 4 | 7 | 湯ヶ原 | |
| 48 | 9 | 22 | 伊豆湯ヶ島 | 落合樓 |
| 49 | 10 | 19 | 下 呂 | 小川屋 |
| 50 | 10 | 4 | 山代温泉 | ホテル山王閣 |
| 51 | 10 | 2 | 会 津 | 東山温泉新滝 |
| 52 | 10 | 22 | 奈 良 | 大和山荘 |
| 53 | 10 | 27 | 上の山温泉 | ホテル古窯 |

支部の動き

45、54、10、10、25、27 館山寺 遠鉄ホテル
 琴平グランドホテル
 (高松—大阪—羽田)

56、10、24 四万 やまぐち館
 57、10、23 若狭 ホテルやまね
 58、10、22 南紀 ホテル白良荘
 (大阪—羽田)

59、10、21 十和田 大滝グランドホテル
 (三沢—羽田)

60、10、19 木曾 恵那峡グランドホテル
 61、10、25 山口 湯田温泉ホテル常盤
 (宇部—羽田)

62、10、17 陸中 宮古近江屋
 63、10、22 西伊豆 牧水荘土肥館
 1、10、21 山陰 鳥取砂丘予定
 (鳥取—羽田)

4月13日(木)支部監査会、於…支部室、大竹支部
 長、瀬戸会計、小林両監査、岩本書記出席

4月13日(木)部長会、於…支部室、予算案検討

4月27日(木)京青会定時総会、於…築地スエヒロ、
 大竹支部長、荒木副支部長出席

5月8日(月)顧問・相談役・参与の会、於…印刷
 会館二階、京青会10周年記念協賛を依頼

5月11日(木)部長・監査・参与の会、於…支部室、
 4月支部長会報告事項、事業推進

- ・F、A、C、E、計画への協力要請
- ・印刷百年史、支部沿革について
- ・「印刷人の集い」について

・京橋支部70枚のパーティ券の依頼
 ・需要開拓ニュース「虹」について
 ・賦課金改訂について

2、報告事項
 ・平成元・2年度総代の推薦状況
 ・「消費税110番」の設置について
 ・支部総会の開催状況について

・平成元年度構造改善計画の概要
 ・事務局人事異動について

3、当面する支部事業について
 ・通常総会進行について

5月12日(金)支部通常総会開催、於…中央会館、
 来賓、支部員他計85名出席

5月17日(水)伊坂美術印刷創立80周年記念式典、
 於…赤坂ホテルオークラ

5月18日(木)本部支部長会、於…印刷会館2階
 1、本部事業推進について

・平成元年度通常総代会の開催について
 ・「印刷人のつどい」について、6/5
 ・消費税アンケートの実施について

6/1、全組合員へ封書、直送依頼
 5月20日(土)製本・京橋支部総会、於…箱根湯本
 温泉橋、大竹支部長出席挨拶

5月22日(月)中央区工団連常任理事会、於…中央
 区役所、支部役員出席

5月24日(水)本部総代会、於…霞ヶ関ビル

6月5日(月)平成元年印刷人の集い、於…纏東京

プリンスホテル、支部員、京青会出席

6月7日(水)中央区工団連総会、於…中央会館

6月8日(木)本部支部長会、於…印刷会館二階

1、本部事業推進について
 ・新年度事業展開について
 ・通常総代会提案事項について
 ・経営者セミナー等各種研修会の開催
 「今直面している人員確保問題」
 「第1回営業マン講座」

「全印工連・印刷営業士」補足講習
 「東京都印刷営業士会々員の集い」
 「CTS原価計算及び積算について」
 パートIIについて、組合員価格470円

・事業者台帳未提出企業の扱いについて
 ・火災共済第一次増強運動について
 ・第28回永年勤続従業員表彰者推せん

2、報告事項
 ・TV東京のニューコンパクト取材

6月16日(金)小宮山印刷(株)40周年記念式典、祝賀
 会、於…東中野日本閣

6月18日(日)19日(月)中央区工団連宿泊研修旅行、
 於…静岡県館山寺温泉、翌日河合楽器見学、
 印刷京橋より35名参加

7月5日(水)「長寿者」の集い、於…京橋会館、
 長寿者18名出席、顧問・相談役・参与、役
 員等、計45名出席、会費五千元

7月13日(木)部長・監査・地区長会、於…支部室
 1、支部長会報告、事業推進について

・ファクシミリマークの使用、普及方法
 ・総代選出に関するアンケートについて
 ・消費税アンケート結果について、6/
 末、回収状況^{39.4%}

・第23回「敬老の集い」該当者の確認

- ・ 永年勤続従業員表彰推せんについて
- ・ '90年版「組合員名簿」校正、8/20締切

2、報告事項

- ・ 平成元年度印刷人の集い結果について
- ・ ネットワークショー8千人
- ・ F、A、C、E、ショー1千人
- ・ 印刷人の集い、1千人
- ・ 事業者台帳未提出5支部31社
- ・ 百年史別冊企業沿革の掲載募集
- 3、当面する支部事業について
 - ・ 支部永年勤続従業員表彰式、9/21
 - ・ 京青会10周年記念委員会の委員委嘱
 - ・ 支部特別会費（京青会10周年協賛金）納入について、賦課金と一緒に行う
 - ・ その他、支部報次回湊地区担当8月
- 7月21日（金）京青会臨時総会、於…築地スエヒロ10周年記念事業の承認可決
- 7月26日（水）京青会10周年記念事業実行委員会、於…支部室、委員の委嘱をお願いする
- 7月26日（水）白橋ホーム（株）創立20周年記念祝賀会、於…銀座東急ホテル、大竹支部長出席

支部員の異動

- ・ 脱退組合員（元年4月～8月）
- ・ （株）西田プリント（八丁堀地区）西田茂夫殿
- ・ 大久保印刷（株）（京橋地区）大久保芳治殿
- ・ 紙谷整版（株）（入船地区）紙谷さく子殿
- ・ 地区移動組合員（8月）
- ・ （株）光雄社印刷所（入船地区）は住所移転によ

り新富地区へ転入となりました。
新加入組合員（8月）

・ 住宅印刷（株）（八丁堀地区）中野哲三殿加入。

所在地移転

- ・ 大興印刷（株）（築地地区）は新川2-24-2、（豊平ビル）、電話297-6185へ移転しました。
- ・ 島田アサヒ印刷（株）（湊地区）は新川1-28-4（越前堀永谷マンション504号）へ移転。
- ・ 丹祥堂印刷（株）（銀座地区）は墨田区石原1-20-4、電話5608-4738へ移転しました。
- ・ （有）文星堂（八丁堀地区）は入船2-9-1へ移転

社名変更

・ 光雄社印刷所（入船地区）は新富2-10-3、（鈴木ビル）へ移転しました。

・ 三好印刷（株）は住所が新川1-6-12へ移転。

・ 尚文堂印刷（株）（新富地区）は尚分堂印刷（株）と社名変更しました。

お悔み申し上げます

▼新川地区、（株）大成印刷社社長、須賀幸太郎殿が御逝去されました。（6月）

慶 事

- ・ （有）幸文社石井印刷所石井幸雄氏次男治久氏御結婚（5月）
- ・ （株）日刊食料新聞社近藤正弥氏長男卓氏御結婚（9月）

編 集 後 記

現支部執行部の方針として、「京橋の印刷」の編集発行を各地区が担当することにしたことから、今回は湊地区が8月発行の予定で企画しましたが、約一ヶ月発行が遅れてしまいました。各地区がそれぞれの特色を生かすということから、鐵砲洲神社の写真を表紙に掲載し、中川宮司に寄稿を依頼したところ、私達の知らなかった湊町の由来、歴史から現在の状況、又、将来の展望まで記して頂くことが出来ました。本部からも支部からも毎年組合員名簿は配布されますが、作業交流を活発にし併せて組合員の親睦と協調の輪を拡げる目的で、湊地区組合員の紹介を代表者の顔写真を添えて掲載致しました。ご活用下さい。

印刷業界の中心として、その存在価値の重要性が問われる京橋支部発行の「京橋の印刷」が一層有意義な機関紙になるよう努力したいと願っております。

（中山）

前号の編集後記の文中に、（株）ミズノプリンティングと間違っていました。正しい名称はミズノプリテック（株）です。慎んでお詫び申し上げます。皆様からの御意見、御投稿をお待ち申し上げます。

（岩本）